



Clean Association of
TOKYO 23

平成20年11月14日 第18号
発行：東京二十三区清掃一部事務組合
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号
TEL 03-6238-0613～5 FAX 03-6238-0620

清掃一組だより

東京二十三区清掃一部事務組合は、
循環型社会の形成を目指しています。
<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

開かれた清掃一組をめざして

清掃一組「経営計画」の基本方針の一つに、「23区との緊密な連携をめざす一組」があります。これは、23区とのパートナーシップ、区民との連携、を強化しようというものです。この方針に沿って、財政状況や計画の進捗状況を詳しく、わかりやすく、積極的に公表し、事業運営の透明性を確保することに努めています。

その取り組みとして、新たに設置した検討委員会の区民委員の公募や会議の公開、資料や会議記録の公表を行っています。

～ 溶融処理技術検討委員会を設置しました～

大田工場で灰溶融施設が平成3年3月に稼動したのをはじめとして、清掃一組では、現在7施設で灰溶融処理を行っています。埋立処分量の減容化を図るとともに生成したスラグの利用を促進し、最終処分場の延命化や循環型ごみ処理システムの構築に向けて、積極的に取り組んでいます。



7月10日開催の第2回溶融処理技術検討委員会の様子
その中で顕在化した課題と今後の方向性を検討するため、本年1月に「溶融処理技術検討委員会」を発足しました。委員は、学識経験者を中心とする7名に委嘱しています。また、技術的な観点から専門的な検討を行うための下部組織として、プラントメーカーの技術者を含めた14名で構成する専門委員会を設置しました。本委員会では、処理コストの低減、スラグの利用促進と資源化の推進、溶融処理技術の評価と今後の方向性などについて検討を進め、来年6月に最終報告をまとめる予定です。

本委員会の開催日時や資料、議事録は、清掃一組ホームページ（<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>）に掲載しています。

～サーマルリサイクル実証確認結果の確認等検討委員会を設置しました～

清掃一組では、廃プラスチックのサーマルリサイクル本格実施に向けて、平成18年度から清掃工場ごとに環境に与える影響などについて分析調査を行う実証確認を実施しています。この実証確認の結果について、改めて学識経験者、幅広い層の区民、行政の立場で確認するとともに意見を得ることにより、本格実施以降のより安全で安定的な可燃ごみの焼却処理を図るため、サーマルリサイクル実証確認結果の確認等検討委員会を設置しました。

検討委員会では、次の項目についての確認と検討を行っていきます。

- (1) 実証確認実施結果の確認
- (2) 区民の理解を深める視点からの実証確認に関わる事業のあり方
- (3) 実証確認実施結果を踏まえた、サーマルリサイクル本格実施以降の可燃ごみ焼却プラントの安全・安定的な施設運営
- (4) その他

検討委員会は、次のような委員構成になっています。

- ・実証確認に関して学識経験を有する者 2名
- ・実証確認に係る自治体職員 7名(23区職員 5名・東京都職員 2名)
- ・一般区民 6名
- ・清掃一組職員 1名

計16名(平成20年10月30日現在)

サーマルリサイクル実証確認結果の確認等検討委員会が開催されました。

第1回

- 【日時】 平成20年7月7日(月) 午前10時～12時
- 【場所】 東京区政会館14階 入札室
- 【議題】 (1) 委員長の選出について
(2) 委員会の設置及び運営方針について
(3) 実証確認報告書の概要について

第2回

- 【日時】 平成20年10月30日(木) 午後1時～3時
- 【場所】 東京区政会館20階 205会議室
- 【議題】 実証確認結果等に関する意見交換等

第3回は、平成21年1月に開催を予定しています。

サーマルリサイクル実証確認結果の確認等検討委員会の開催結果等については、清掃一組ホームページで公表しています。

<http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>



10月30日開催の第2回検討委員会の様子